

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	20049
課題名	小児に対する 8K 腹腔鏡下単径ヘルニア根治術 (LPEC 法) の安全性と有効性に関する検討
研究期間	西暦 2020 年 7 月 20 日 ~ 2024 年 3 月 31 日
研究の対象	2018 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までの単径ヘルニアと診断され、腹腔鏡下単径ヘルニア根治術 (LPEC 法) を施行された患者さん
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報 (詳細: 年齢、性別、診断名、病歴、治療内容、検査結果、画像診断結果、体表写真、手術記録 (画像)) <input type="checkbox"/> 試料: 手術で採取した組織 (対象臓器等名:)
研究の意義、目的	<p>小児鼠径ヘルニアは小児外科領域で最も頻度の高い疾患で、日常的に行われている最も基本的な手術です。現在、小児鼠径ヘルニアに対する手術術式は大きく、歴史が長い経鼠径管法 (Potts 法など) と腹腔鏡下手術の二つに分けられます。腹腔鏡下手術はわが国では 1995 年に初めて LPEC 法 (Laparoscopic Percutaneous Extraperitoneal Closure) として施行して以来、全国的に多くの施設で行われるようになり、現在では小児鼠径ヘルニア根治術の標準術式になりつつあります。</p> <p>旭川医科大学でも、2018 年 4 月より LPEC 法の導入を開始し、良好な術後成績を得ています。小児の腹腔鏡下単径ヘルニア根治術 (LPEC 法) では、特に精管や精巣動静脈の剥離において、繊細な視覚的な把握が重要です。</p> <p>当院では、8K 内視鏡システムがすでに手術室に導入されている。超高精細画像による繊細な解剖学的構造の把握により、手術手技・安全性の向上をはかると考えています。</p>
研究の方法	2018 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までに、腹腔鏡下単径ヘルニア根治術 (LPEC 法) を受けられた患者さんの診療記録、手術記録、手術画像 (動画含む) などから臨床上の具体的有効性について比較検討し報告したい。
その他	本研究の実施に際しては特に資金を必要としません。 本研究は企業や団体とのかかわりは無く開示すべき利益相反事項はありません。
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p>

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒078-8510 旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号

旭川医科大学 外科学講座 血管呼吸腫瘍病態外科学分野小児外科

電話 0166-68-2494 FAX 0166-68-2499

研究責任者： 旭川医科大学外科学講座 血管呼吸腫瘍病態外科学分野小児外科
講師（学内） 宮城 久之